

日本エア・リキード、ピュアサーモンジャパンの国内最大級陸上養殖施設向けに、持続可能なガス供給体制を構築

日本エア・リキード合同会社（本社：東京都港区）は、ピュアサーモンジャパン株式会社と長期的な戦略的パートナーシップを結び、同社が三重県津市で運営する国内最大の陸上養殖施設に対して産業ガスの包括的な供給を行います。閉鎖循環式陸上養殖（RAS）向けに最適化されたグローバルなプロセス技術を導入することで、エア・リキードは、日本の先進的な水産養殖分野における事業基盤を強固なものにするとともに、低炭素で持続可能な国内食料生産への移行を加速させます。

日本エア・リキードは、液化酸素、液化窒素、および液化炭酸ガスを供給する**包括的なガスインフラの設計、構築、および運用**を行います。また、このターンキーシステムにより、水質および浄化の自動管理に不可欠なオゾン発生器への、効率的かつ連続的なガス供給を可能にします。

同施設には**高精度な圧力・流量制御システム**と、**エア・リキード独自の2系統バックアップ混合技術**が組み込まれており、魚の生存と成長に最適な環境を実現します。設計段階から日々の運用にいたるまで、設備の安定稼働を一貫して支える国内の技術サポート体制により、システム管理が複雑な高密度水産養殖において、長期にわたる確かな信頼性を確保します。

エア・リキードは、ALTEC GIL（Air Liquide Technology Center Gas Injection in Liquid）の高度な技術力を活用し、大型養殖施設向けに世界水準のガス設計エンジニアリングを提供します。さらに、**スマートオペレーションと遠隔監視システムを導入**することで、運用の安全性を一層強化します。これらの自動化されたデジタル技術を通じて施設と24時間体制のサポートセンターを直接連携させ、必要に応じた即座の緊急バックアップ起動を可能とすることで、強靱で安定した稼働体制を構築します。

これらの極めて複雑な供給プロセスを安定稼働させることで、本パートナーシップは、日本における強靱で持続可能な国内食料サプライチェーンの確立に必要な運用効率向上を実現し、高いパフォーマンスと社会および環境への貢献を両立させます。

日本エア・リキード 社長兼CEO 牧原 康二のコメント「**本プロジェクトは、当社の高度なガス制御技術とグローバルな知見が、日本の次世代養殖産業の発展に直接貢献することを示す重要な事例です。設計から運用までエンド・ツー・エンドで支援することで、国内食料生産を支える戦略的パートナーとしての役割を果たしてまいります。**」

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

ww-aljcommunications@airliquide.com

03-6414-6728

エア・リキードについて

酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の核となってきました。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界59カ国で65,000人の従業員を擁し、430万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。2025年度の売上高は約270億ユーロに達し、エア・リキードは強固なパフォーマンスと価値ある成長を両立させています。

エア・リキードは、多角化された強靱なビジネスモデルと世界各地に根ざした強固な現地拠点を有するリーディングカンパニーです。高度なエンジニアリングの専門知識と技術革新を通じて、産業効率の向上、脱炭素化の加速、そしてバリューチェーンの強化を実現する拡張性の高いソリューションを提供しています。成長市場やメガトレンドに戦略的に注力し、長期的な付加価値を創造し、持続可能な未来を築くために、エア・リキードは、主要な産業・社会の変革に寄り添い、共に歩んでまいります。

エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、Dow Jones Best-in-Class Europe Indexの構成銘柄です。

